

| 科目名 在宅看護援助論 I 時間割表記名 在宅看護援助論 I | 配当時期 2年次 単位数 1単位 時間数 30時間(15回) | 講義担当者 川上 瞬 田中裕貴 | |
|--|--|--------------------|--------|
| 事前学習内容 | | | |
| 授業目標 1. 在宅ケアの連携とマネジメントを理解することができる。 2. 訪問看護時の看護者の姿勢と態度について習得できる。 3. 在宅において対象に応じた生活支援が実践できる。 | | | |
| DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。 | | | |
| 授業の流れ | | | |
| 回 | 学習内容 | 方法 | 備考 |
| 1 | 1. 訪問看護時の看護者の姿勢と態度 初回訪問とそのプロセス | 講義 | テキスト①② |
| 2 3 | 2. 対象に応じた生活支援－① 1) 食事に関する支援(胃ろうを造設している対象の支援) 2) 清潔に関する支援 (1) 食事の援助:経管栄養(胃瘻) | 講義 | テキスト①② |
| 4 5 | 3) 移乗・移動に関する支援 (1) 活動の制限と生活行為への支援 (2) 在宅での移動・移乗の特徴 (3) 住まい・生活環境のアセスメント (4) 補助具 (5) 住宅改修 [実技]活動:ポジショニング、移動・移送 | 講義 | テキスト①② |
| 6 7 | 4) 褥瘡の予防とケア 5) 排泄に関する支援 【実技】ストーマケア(人工肛門、人工膀胱) カテーテル管理 | 講義・演習 | テキスト①② |
| 8 9 | 3. 対象に応じた生活支援-2 1) 在宅酸素療法を受けている対象の看護 | 講義 | テキスト①② |
| 10 | 2) 在宅人工呼吸器療法(HMV)を受けている対象の看護 (1) 非侵襲的陽圧換気(NPPV)を受ける療養者の援助 (2) 気管切開下陽圧換気(TPPV)を受ける療養者の援助 | | |
| 11 | 3) 在宅中心静脈栄養法を受けている対象の看護 (1) 在宅中心静脈栄養とは (2) 在宅中心静脈栄養の適用条件 (3) 在宅中心静脈栄養を用いる療養者への在宅看護 | 講義 | テキスト①② |

| | | | |
|--|---|--------|--------------|
| | (管理・必要となる援助・指導) | | |
| 12 | 4) 在宅での腹膜透析における看護 | 講義 | テキスト①② |
| 13 | 5) 薬物療法に関する支援 (1) 地域・在宅看護における与薬 (2) 在宅における与薬のアセスメント (3) 与薬方法ごとの在宅ケアのポイント | 講義 | テキスト①② |
| 14 | 6) 在宅における疼痛緩和ケア | 講義 | テキスト①② |
| 15 | 筆記試験(45分)まとめ(45分) | 試験(筆記) | |
| 受講上の注意 | | | 評価方法 筆記試験 |
| <p>使用するテキスト</p> <p>① 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤. 医学書院</p> <p>② 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践. 医学書院</p> <p>③ 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術, メヂカルフレンド社</p> <p>参考文献</p> | | | |